

2025年度 日本マスタース水泳短水路大会京都会場 開催のご案内

(2次要項)

2025年5月25日(日) 京都アクアリーナ

「2025年度 日本マスタース水泳短水路大会京都会場」は328チーム・1364名の参加となりました。多数のお申し込みありがとうございました。

主催者としてスイマーの皆さまが健康で安心して泳げる環境を作ることに全力で取り組めますが、安全な競技会の開催には、選手、チーム責任者、競技役員の皆さまの協力が必要です。ルール の理解とマナーの厳守をお願いします。

参加されるすべての皆さまが本案内の内容を**必ずご確認ください**のうえ、前向きな姿勢で競技会運営にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

※ 大会期間中にテクニカルミーティングは実施しませんので、必ず本案内をご確認ください。

<入場について>

チーム1名の入場は予め抽選で順番が決まっております。

今回もチームの代表者1名を一般入場時間より先に入場いただきます。

優先入場できる方は1チーム1名のみです。入場の順番は、実行委員会が参加人数に関係なくコンピュータ自動抽選で決定しました。

入場点呼は7時30分より行います。代表者は選手の列ではなく、左側の入口前、「入場シール配布場所」にお集まりください。同封の「入場シール引換票」と引き換えに、整列後、入場シールを左腕に見えるように貼らせていただきます。7時30分からの点呼時にいないチームは最終グループへお並びいただきます。予めご了承ください。優先入場は7時40分までとさせていただきます。7時40分以降に来られたチームは選手の入場列の後にお並びください。

選手の入場時間は8:00ですが早まる場合があります。

- ※ 高齢者または1名で参加のチームは入場口左側の観客席にプライオリティエリアを設けていますのでそちらをご利用いただけます。
- ※ 介助者が必要な場合は、事前に「出場申告用紙」に記載の上、介助者ADカードを申請してください。
- ※ 来場者(応援者)ADカードは、申請されたチームにのみ送付しております。(入場は選手の入場後となります。)

主催者・主管からの連絡事項	2
1. 大会会場	3
2. 大会日程／競技スケジュール	4
3. 会場案内図	5
4. ADカード	6
5. 会場入退館	6
6. 競技方法	6
7. ウォーミングアップ	7
8. 招 集	8
9. リレー種目	8
10. 表彰・記録	8
11. 申告／抗議	8
12. 施設使用上の注意	10
13. 健康管理	10
14. その他	11
※大会出場にあたっての注意	12

主催者・主管からの連絡事項

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）（カッコ内：競技規則条項）

1. 出発について（背泳ぎを除く）

- a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでも行える。（第4条1項）
- b. 審判長の長いホイッスルにより、スタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（第4条1項）
- c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。（第4条1項）
- d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。（第4条3項）

2. 自由形について

競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から15m以内の距離では体が完全に水没してもよいが、壁から15m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。（第5条3項）

3. 背泳ぎについて

バックストロークレッジを使用する場合は、両足のつま先の少なくともそれぞれ一本はタッチ板に接していなければならない。（第6条1項）

4. 平泳ぎについて

- a. 両腕の動作は、同時に行われなければならない、交互に動かしてはならない。（第7条2項）
- b. 両脚の動作は、同時でなければならない、交互に動かしてはならない。（第7条4項）

5. バタフライについて

- a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（第8条3項）
- b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から15mの地点までに、頭は水面上に出なければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出なければならない。（第8条5項）

6. メドレー競技について

個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときはあおむけの状態であってもよいが、うつぶせの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。（第9条1項）

7. 競技終了後の退水について

泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。（第10条9項）

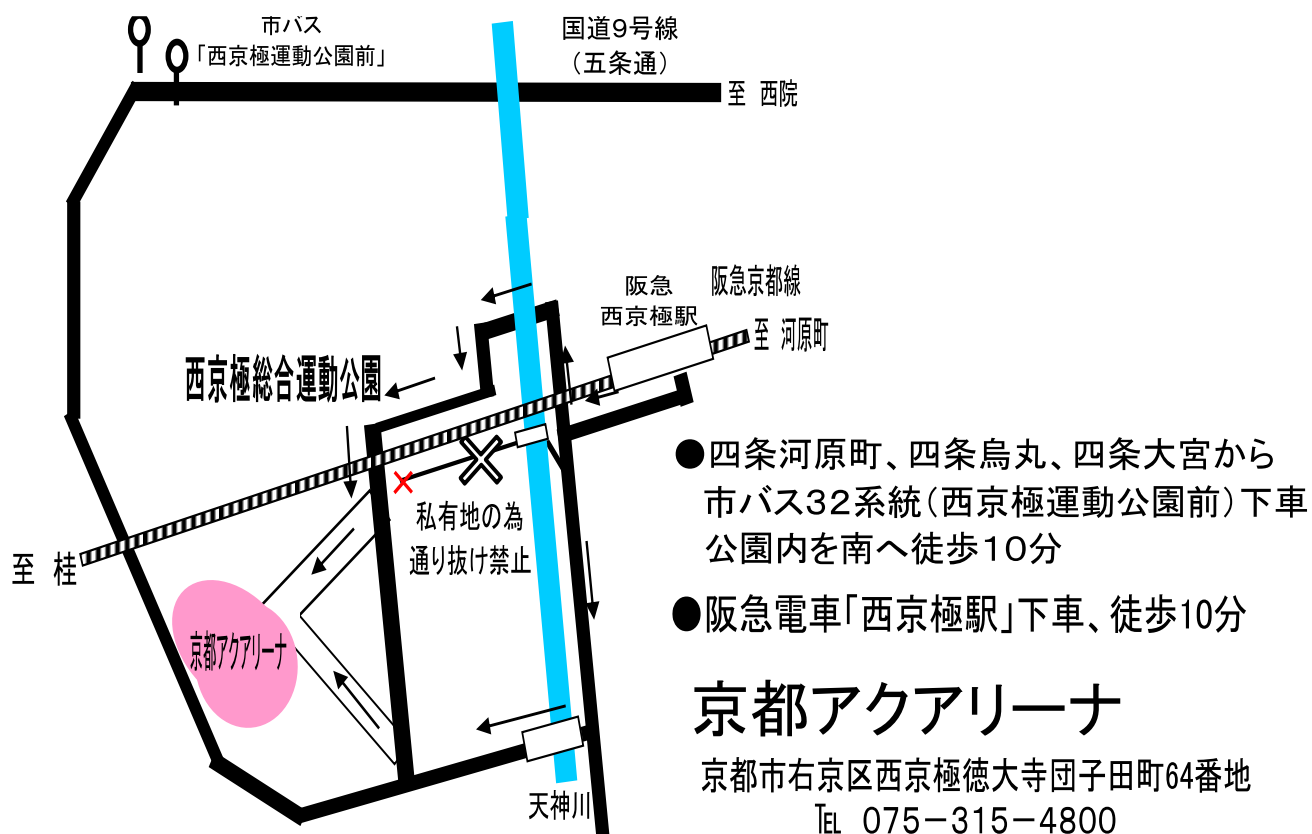
8. リレー競技の第1泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第1泳者の記録は新記録に申請することができる。（第13条5項）

9. 水着の規定について

競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。（第15条1項）

1. 大会会場



＊＊ スタート&リザルトのご案内 ＊＊



スタート&リザルト

<https://tdsystem.co.jp/ProList.php?Y=2025&G=0&GL=1&M=5&G=80>

2. 大会日程／競技スケジュール

- ※ チーム責任者1名は選手入場前に入場いただけます。
選手の入場は8時となります。※天候等により早まる場合もあります。
- ※ 開場時は入場口が混み合うことが予想されますのでご了承ください。ご自身の出場種目に合わせて来場いただくなど分散入場にご協力をお願いします。
- ※ 入場時に会場内を走るのは大変危険です。思わぬ転倒事故につながる恐れがありますので絶対におやめください。
- ※ 自身（所属選手）の競技終了後30分を目安に速やかなご退館にご協力をお願いします。
- ※ 競技スケジュールはあくまで予定であり、競技の進行状況により前後します。オンタイム進行を基本としますが、進行が早まった場合20分までは繰り上げます。

チーム責任者優先入場受付	7:25 ※1ページ目の「入場について」を参照
開 場	8:00
メインプールアップ	8:00～8:45
公式スタート練習	8:25～8:45

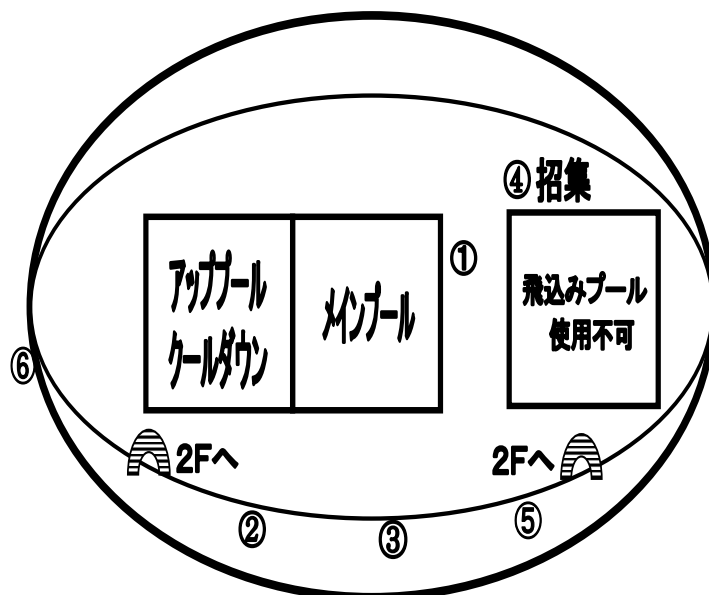
No	競 技 種 目	予定時刻	No	競 技 種 目	予定時刻
1	女子200m個人メドレー	9:00	18	女子 25m背泳ぎ	13:18
2	男子200m個人メドレー	9:16	19	男子 25m背泳ぎ	13:30
3	女子4×50mメドレーリレー	9:45	20	女子 25mバタフライ	13:35
4	男子4×50mメドレーリレー	9:54	21	男子 25mバタフライ	13:44
5	混合4×50mフリーリレー	10:05	22	女子100m個人メドレー	13:50
6	女子100m自由形	10:24	23	男子100m個人メドレー	14:21
7	男子100m自由形	10:49	24	女子 50m自由形	14:54
8	女子100m平泳ぎ	11:15	25	男子 50m自由形	15:19
9	男子100m平泳ぎ	11:31	26	女子 50m平泳ぎ	15:43
10	女子100m背泳ぎ	11:51	27	男子 50m平泳ぎ	15:55
11	男子100m背泳ぎ	12:09	28	女子 50m背泳ぎ	16:13
12	女子100mバタフライ	12:20	29	男子 50m背泳ぎ	16:28
13	男子100mバタフライ	12:27	30	女子 50mバタフライ	16:37
14	女子 25m自由形	12:42	31	男子 50mバタフライ	16:45
15	男子 25m自由形	12:56	32	女子4×50mフリーリレー	16:55
16	女子 25m平泳ぎ	13:05	33	男子4×50mフリーリレー	17:07
17	男子 25m平泳ぎ	13:11	34	混合4×50mメドレーリレー	17:22
				競技終了予定時間	17:49

リレーオーダー変更届 提出締切時間					
No	種 目	競技予定	No	種 目	競技予定
3	女子 4×50mメドレーリレー	8:30	32	女子 4×50mフリーリレー	15:00
4	男子 4×50mメドレーリレー	8:30	33	男子 4×50mフリーリレー	15:00
5	混合 4×50mフリーリレー	8:30	34	混合 4×50mメドレーリレー	15:00

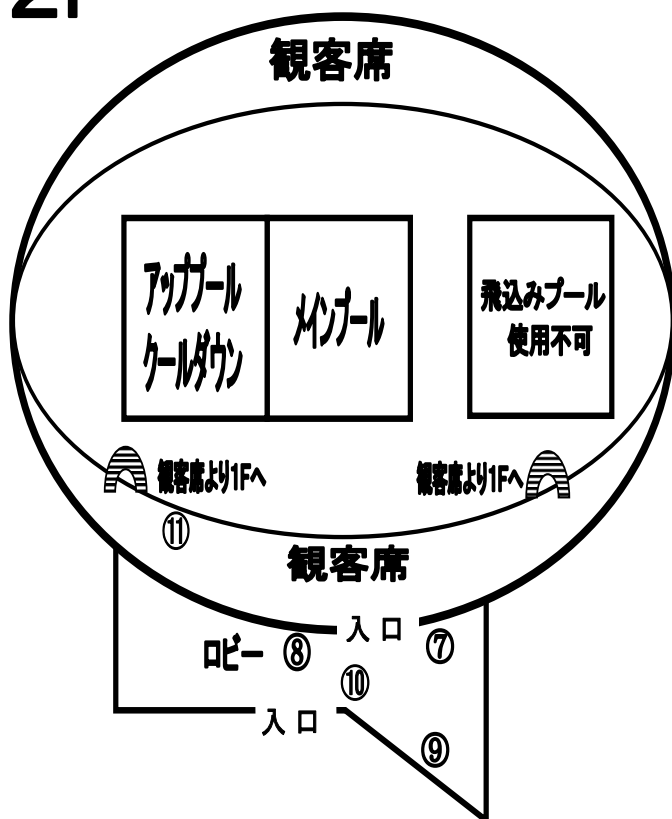
3. 会場案内図

《京都アクアリーナ会場図》

1F



2F



- ① 本部席
- ② 男子更衣室
- ③ 女子更衣室
- ④ 招集所
- ⑤ 役員控室
- ⑥ 救護室
- ⑦ 大会受付
(リゾリューションデスク・表彰所)
- ⑧ 速報掲示板
- ⑨ 売店
- ⑩ 会場出入口
- ⑪ プライオリティエリア

4. ADカード（選手・チーム責任者・競技役員・介助者・来場者）について

- (1) ADカードは、日本マスタース水泳短水路大会京都会場の参加選手・責任者・競技役員・介助者であることを証明する大切なものです。プールへの入場時、招集受付、賞状の受け取りの際など、大会中必要になります。会場では首から下げるなど見える位置に必ず携帯してください。
- (2) 事前申請された方のみ来場者のADカードを発行します。当日の申請はお受けできませんので予めご承知おきください。
- (3) ADカードを紛失および忘れた場合は、再発行所（大会受付）にて再発行を受けてください。再発行には、500円が必要となります。
- (4) チームへはチーム責任者用ADカードを1枚同封しています。
- (5) 本大会では、ADカードが写真撮影許可証を兼ねています。必ず見える位置に携帯してください。

5. 会場入退館

- (1) 入場時、入場口にてADカードのご提示をお願いします。
- (2) プログラム（予約分）は下記の手順で、大会期間中にお引き換えください。大会終了後や引換券がない場合は受け取れません。
 - ① 参加賞（当日に限る）
参加選手は、入場後、参加賞引換所にて選手ADカードのQRコードをかざしてお受け取りください。（1人1回）棄権者のADカードをお持ちいただければ参加賞をお渡しします。
 - ② プログラム（予約分）
「プログラム引換券」は予約冊数分の枚数を送付します。購入者本人または代表者1名がまとめて大会受付に提出し、お引き換えください。
- (3) 再入場にはADカードのご提示が必要となりますので、必ずADカードをお持ちのうえ外出してください。

6. 競技方法

- (1) 本競技会は、一般社団法人日本マスタース水泳協会競泳競技規則に則り行います。
- (2) 競技は、全て男女別（混合リレーを除く）・年齢区分別のタイムレース決勝とします。
25m・50m・100mの個人種目およびリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い、高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。但し、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う場合もあります。
その他の200mの個人種目は、年齢区分に関わりなく、男女別・エントリータイム順に組み分けを行い、遅い組から速い組への順で行います。
- (3) メインプールの水深は200cmです。各レーンへの水深台の設置はありませんのでご注意ください。
- (4) **水着の規定**
 - ① （一社）日本マスタース水泳協会が公表している水着規定（水着の取り扱いについて）に準じます。マスタース水泳では、ウェアや水着への商業ロゴマーク等の規定はありません。
 - ② 日本新記録・世界新記録の公認には、WORLD AQUATICS 承認水着の着用が必要です。
 - ③ ネックレス、ブレスレットおよび鼻栓は使用・着用できますが、パワーバンドと判断されるもの（ファイテンやパワーバランス）は使用・着用できません。また、デザイン等で危険が想定される装飾品（石が付いているものなど）については安全上の理由で使用を控えてください。
- (5) **スタート**
 - ① スタートは、25m 種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。
 - ② マスタース水泳のスタートでは背泳ぎ・メドレーリレーの第1泳者以外の種目は、「スタート台上・プールデッキ・水中から」の3つの方法からスタートすることができます。はじめて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面から、プールデッキや水中からのスタートをお願いします。

- ③ メインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに用意されている「水浴び用バケツ」を使用してください。
- ④ バックストロークレッジについて
 - A) バックストロークレッジは、背泳ぎ種目において使用できます。選手席に入場したら、折返監察員がバックストロークレッジのレベルを 0 に調整後、ただちに高さ調整を行ってください。
 - B) 折返監察員がバックストロークレッジを上げる前に調整するとレベルを 0 戻されている場合がありますのでご注意ください。（開始前に折返監察員がレベルを 0 に戻します）
 - C) バックストロークレッジを使用しない場合は入場後速やかに、折返監察員に「使用しない」と申し出て、レッジを上げてもらってください。
- ⑤ 最終チェックとして、入水前にご自身でバックストロークレッジの装着確認を行ってください。使用するのに設置されていない場合は、入水前に速やかに折返監察員に伝えてください。

(6) プールからの退水について

- ① 競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないように注意し、横から退水してください。
- ② ゴール後は、個人種目は25m種目を除き右側のレーンロープにつかまり水中で待機、次の組がスタートしてから退水してください。
- ③ **リレー種目は各泳者ゴール後、速やかに退水してください。退水は自レーンからの退水が可能です。他のレーンを横断する際は、そのレーンの選手の妨害をしないよう十分注意してください。競技役員から指示があれば従ってください。**
- ④ 25m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないよう競技役員の指示に従い、速やかに横へ移動し退水してください。
- ⑤ 1～4レーンの泳者は1レーン側、5～8レーンの泳者は8レーン側へ移動して退水してください。競技役員から指示があった場合は、その指示に従ってください。
- ⑥ 退水後は荷物を忘れずに持ち、アッププール側へ移動してください。招集側からは戻れません。

7. ウォーミングアップ

大会期間中のウォーミングアップ・スタート練習の時間は下表のとおりです。

	ウォーミングアップ	公式スタート練習
メインプール 水深 200cm	8:00 ～ 8:45 ダッシュ専用：7・8レーン	8:25 ～ 8:45 全レーン
アッププール	8:00 ～ 競技終了 ダッシュ専用：8レーン	
飛び込みプール	使用できません	

- ※ 安全上、パドル・フィン・キックボード・シュノーケル等の用具の使用は禁止します。
- ※ ダッシュレーンならびに公式スタート練習は折り返し側からの一方通行とします。指定レーン変更の場合は、当日通告より発表します。なお、公式スタート練習はスタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。
- ※ 公式スタート練習の順番を待つ際は、間隔を空けて整列するようお願いします。
- ※ アッププールの水深は当日、通告または HP で発表します。

8. 招 集

- (1) 招集は飛び込みプール横にて行います。ADカードをお持ちのうえ、お越しくください。
- (2) 招集待機場所へは自身の出場する種目・組の 4 組前まで（25m種目は 6 組前まで） を目安に

お越しく下さい。混雑を避けるため、指定組数より早く待機場所へ集まることはお控えください。最初の種目の招集は 8:45 より開始します。

- (3) 招集では、以下の手順で受付をします。
- ① 「種目名・組・選手名」がスクリーンに表示されます。
 - ② 自身の出場する組が表示されたら直ちに招集員にADカードを提示し、QRコードをかざして出場チェックを受けてください。
 - ③ 水着の確認を受けて、指示に従い並んでください。
- ※ 組・レーンを間違えて泳いだ場合は失格となりますので、忘れないようにご注意ください。
- (4) 出場チェックを済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。
- (5) 25m種目出場者が招集に持ち込めるのはADカードのみとなります。衣類は必ず脱いでからお越しく下さい。

9. リレー種目

- (1) リレーオーダーを変更するリレー出場チームは、競技当日にチーム責任者またはリレーチームの代表者が、締切時間（P4参照）までにリゾリレーションデスクへ「リレーオーダー変更届」をご提出ください。
- ※ 変更は、競技当日に限り締切時間内に 1 回のみとなります。締切後の変更は認められません。
- ※ 種目、年齢区分の変更はできません。
- ※ 同一リレー種目には、年齢区分に関わらず 1 人 1 回しか出場できません。
- (2) 招集所へは、「ADカード」をお持ちのうえ 4 名揃ってご集合ください。4 名揃わないと招集を受けることができません。
- (3) 第 2 泳者以降が水中からのスタートを希望するチームは、P9「11. 申告(4)」に従い、リゾリレーションデスクへご申告ください。

10. 表 彰・記 録

- (1) 公認された記録は、(一社)日本マスタース水泳協会ホームページより会員ログインし、チーム責任者または選手本人が公認記録証として出力できます。
- (2) 各種目・各年齢区分の個人種目 1～8 位、リレー種目 1～3 位に賞状を授与します。ランキング発表後、表彰所にてADカードを提示してお受け取りください。
- (3) 男女別・年齢区分別ランキングを各種目終了時に(一社)日本マスタース水泳協会ホームページにて発表します。**ADカードに記載のQRコードを読み取ればご覧いただけます。**
- (4) マスタース水泳日本記録ならびに世界記録樹立者には、プールサイドにて表彰式を行い、日本新記録証ならびに世界新記録を授与します。また、株式会社ヒカリスports様より記念品が贈られます。表彰時間は、新記録樹立後に競技役員よりご案内します。
- (5) 日本記録・世界記録樹立者は泳者の生年月日を証明する書類※のコピーが必要になりますのでご用意ください。なお、過去に日本記録・世界記録を樹立し、(一社)日本マスタース水泳協会へ提出履歴のある方は不要です。
- ※ 世界記録：パスポート、住民票（3ヶ月以内のもの）
- ※ 日本記録：パスポート、運転免許証、マイナンバーカード、住民票（3ヶ月以内のもの）

11. 申 告/ 抗 議

以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の 1 時間前までにリゾリレーションデスクへご申告ください。お申し込み時に申告された方で当日再確認が必要であると連絡を受けている方もリゾリレーションデスクへお越しく下さい。

- (1) テープ等をされる方
- 提出書類：出場申告用紙 ＜審判長の確認が必要です＞
- ※ ケガによって必要な場合、審判長の許可があれば 1 本または 2 本の手の指、足の指へのテープが認められます。必要な場合は必ず申告してください。

※ その他のテープ等は、競技規則上認められません。やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は、使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリューションデスクへお越しください（指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は許可できません）。

- (2) 障がい者の認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方提出書類：出場申告用紙
＜審判長の確認が必要です＞申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

- (3) 出場に介助が必要な方

提出書類：出場申告用紙

介助が必要な場合は、自ら帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席 まで選手に付くことはできますが、スタートの介助はできません（台上に上がる際に補助をすること、一緒に水中に入ることとは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

- (4) リレーの第 2 泳者以降が水中からスタートするチーム

提出書類：出場申告用紙

※ 申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。

※ 世界記録に挑戦するチームの第 2 泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を樹立しても世界新記録の公認はされません。挑戦するチームの第 2 泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートしてください。

- (5) 世界記録挑戦時にレース中の挑戦コールを希望する方およびチーム

提出書類：世界記録申請用紙

※ リレーの第 1 泳者として挑戦される方が挑戦コールを希望される場合もご申告ください。

＜抗議について＞

次の場合、競技に関する抗議ができます。

- ① 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。
- ② 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。
- ③ 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。

抗議は、抗議書を提出しなければなりません。抗議書の提出は、（一社）日本マスタース水泳協会へ登録しているチーム責任者が行ってください。

チーム責任者以外は抗議できません。

競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出してください。

競技の失格内容や状況等についての抗議は、ランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料として預かり金 50,000 円を添えてリゾリューションデスクに提出してください。

提出された抗議書は審判長が検討し、抗議を棄却した場合は、審判長が口頭で説明します。

審判長の下した判断に不服がある場合は、大会総務に申し立てをすることができます。

審判長の判断に異議がない場合、預かり金は、主催団体に徴収されます。

大会総務は、抗議書の内容を踏まえて、関係した担当者等から聞き取りをした上で最終的な裁定を行います。大会総務が下した裁定は、最終のものとなり、裁定結果はチーム責任者に対して説明されます。

抗議が受理された場合、従前の審判長判断は取り消され、預かり金は返却されます。抗議が棄却された場合、預かり金は主催団体に徴収されます。

大会総務において裁定された結果は最終的な裁定である為、異議は認められません。

※ チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用できかねます。

12. 施設使用上の注意

- (1) プールサイドならびに更衣室は履物厳禁です。履物は各自で袋などに入れお持ちください。
階段下等に靴などを置くことの無いようお願いいたします。

- (2) プールサイド・更衣室以外は水着姿では利用できません。
- (3) プールサイドでの観覧はできません。ウォーミングアップやレース終了後は速やかにプールサイドより退出してください。
- (4) 飲食は、観覧席・観覧席後ろ通路でお願いします。
- (5) ごみは各自でお持ち帰りください。
- (6) 車でのご来場は近隣の方のご迷惑となるため禁止です。(駐車場に収容しきれない為)
- (7) その他施設は、他の団体が使用されています。マスターズ関係者は立ち入り禁止となります。
- (8) 会場内での盗難等については一切責任を負えません。
- (9) 下記のことは禁止します。
 - ① 火気の使用
 - ② 喫煙
 - ③ 会場内外でのテーブル類、くぎ、画びょう等の使用
 - ④ 会場内電源を使用しての電気機器の充電・使用

< 観客席・控え場所の利用について >

観客席は譲り合ってご利用ください。場所取り（イスの確保）は禁止とします。

イスの上に「チーム名入りの紙」「小荷物」等を置いている場合は、場所取りと判断し、競技役員がお声掛けしますので指示に従ってください。

チーム旗の掲出は可能です。(のぼりやポールの使用は不可)

敷物は観客席裏通路の可能エリアのみ利用できます。各チームで譲り合ってご利用ください。

可能エリア以外を利用されている場合は撤去させていただきます。

階段で立ち止まっただけの観覧はおやめください。

< 更衣室の利用について >

- (1) 更衣室・メインプール・アッププールは1階となります。1階へは2階観客席から電光表示板側と飛び込みプール側の2カ所の階段をご利用ください。
- (2) 更衣は必ず更衣室で行い、更衣後は速やかにご退室をお願いします。更衣室内の分散にご協力ください。
- (3) 更衣後の荷物は更衣室内に置かず、各自またはチームで管理してください。長時間置かれている荷物は競技役員が撤去します。

< 貴重品の管理について >

貴重品は、個人またはチームで管理してください。盗難等がございまして一切責任を負えません。個人でロッカーの使用を希望される方は有料（500 円）にて大会用更衣室内ロッカーを貸出します。希望者は別紙「有料個人ロッカー申請書」にご記入いただき、大会受付にて手続きをお願いします。数に限りがありますので予めご承知おきください。

< カメラ・ビデオ・携帯電話等での撮影許可について >

観客席・選手控え場所での撮影は自由としますが、競技役員より指示を受けた場合はその指示に従ってください。プールサイドでの撮影はできませんので予めご承知おきください。また不審な人物を確認した場合は、競技役員へお知らせください。

13. 健康管理

- (1) 大会期間中の健康管理は本人の責任とし、自身の体調には十分留意してください。水分不足には特に注意し、こまめに水分補給をしてください。
- (2) 会場内で体調不良や怪我をした場合は、医務室にて応急処置を行います。
- (3) 当日、自身の体調に不安を感じたときには来場をお控えください。到着後に体調に不安を感じることがないように、来場前の判断は慎重にお願いします。
- (4) マスターズ水泳キーワード9の実践をお願いします。
- (5) 大会期間中、大会医務委員により出場停止を勧告された場合は、その指示に従ってください。
- (6) 万一来場、保険証のコピーをご持参ください。

14. その他

- (1) プログラムは 1,500 円で販売します。
- (2) 大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は大会受付にて保管しています。大会終了後 1 週間で廃棄処分します。衛生上の問題で当日処分させていただくものもあります。
- (3) お申し込み時および AD カードに記載の大会当日緊急時の連絡先は、事故・怪我の発生など万一の際に実行委員会で使用します。これらの目的以外で使用することはありません。チーム責任者の方も下記のとおり、準備をお願いします。
 - 責任者が会場へ同行される場合：出場者全員の緊急時の連絡先を把握しお持ちください。
 - 責任者が会場へ同行されない場合：大会当日、緊急時に選手のご家族に連絡がとれるよう準備してください。
- (4) 緊急時の連絡先とは、選手のご家族等に急を要する連絡の取れる電話番号です。
- (5) 私的営業活動の停止
大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
- (6) 不可抗力による中止の際の対応
大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞」「プログラム（申し込み分）」はチームへお渡ししますが、申込料は返金できません。
- (7) 個人情報ならびに肖像の取り扱いについて
本大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては以下のとおりです。
 - ＜個人情報＞
プログラム、ランキング作成を含む競技会運営に使用します。
競技結果としてホームページ等の媒体に掲載します。
 - ＜肖像＞
大会報告としてホームページ等の媒体に使用します。
以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は主管および日本マスターズ水泳協会に帰属します。
競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像を YouTube 等の WEB サイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。なお、会場 BGM をそのまま使用すると著作権の侵害となりますのでご注意ください。リレーオーダー変更用紙はコピーしてご利用ください。
- (8) 当日の棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入のうえ、リゾリレーションデスクに提出してください。

大会出場にあたっての注意

今回、1364名の参加があり、競技の進行を速やかに行い、少しでも競技時間を短縮するために、以下の事項について参加チーム及び選手の方に特にご理解とご協力をお願いします。

- 1) 「開催のご案内」(2次要項)を充分ご理解のうえ、ご参加ください。特に、リレーオーダーの変更締め切り時間など厳守願います。締め切り後の受付は一切行いません。
- 2) 競技の進行は、オンタイムで行いますが、予定時間より早くなる場合がありますので、招集には遅れないようご注意ください。招集に遅れますと棄権として扱いますので、くれぐれもご注意ください。ただし、密になることを防ぐため、あまり早く来すぎることをのらないようお願いします。
- 3) レース終了後(25m種目以外)、自分のレーンでレーンロープにつかまり次の組がスタートしてからタッチ板に触れないように気をつけて、両サイドからプールサイドへお上がりください。なお、この際、役員の指示を最優先として従ってください。ゴール後速やかに退水を行っていただく場合もあります。25m種目はゴール後、競技役員の指示に従い速やかに退水してください。
- 4) 本大会は『AD カード』のない方は入場できません。入場の際は『AD カード』の提示が必要です。忘れないようご注意ください。
 - ① 入場時はADカードをご提示いただきご入場いただきます。再入場時も同様です。
 - ② ADカードは会場内でもホルダーなどに入れ、必ず首からかけるなど見える位置にお付けください。
 - ③ AD カードの両面が確認できるよう、ホルダー内に不要なものは入れないようご注意ください。
AD カードを紛失および忘れた場合は、リソリューションデスクにて再発行をうけてください。再発行には、500円が必要となります。
- 5) 毎回不法駐車で会場及び近隣の方に迷惑をかけています。車での来場は禁止です。
- 6) 大会中に出ましたごみは各自でお持ち帰りください。帰る際に京都アクアリーナ付近(駅など)で捨てることのないようお願いします。
- 7) プールサイド、更衣室は履物禁止です。素足でご利用ください。階段下等に靴などを置くことの無いようお願いします。
- 8) 競技役員は各チームよりボランティア役員のご協力いただいております。競技役員から指示があった場合、速やかに従い行動していただきますようお願いいたします。
- 9) マスターズ水泳大会での盗難事故が多くなっております。特に朝のウォーミングアップ中の被害が多くプールサイドや観客席の椅子の上などに貴重品を入れた袋を放置しないでください。ほんの一瞬目を放した際に被害に遭った方もいらっしゃいます。できるだけ高額なものはお持ちにならないようお願いします。

※ 個人で使用いただけるよう数に限りがありますが、有料(500円)にて更衣室内ロッカーがございますので、大会受付でお手続きの上ご利用ください。特に、お一人で参加の方はご利用ください。
- 10) 25m種目、リレー種目への出場の際、招集所へは大きな荷物を持ち込まないようお願いします。

＜ご注意ください・・・良くある失格の例＞

- ※25m種目、50m種目で、自分の組を間違えて泳ぎ失格になることが多くあります。レース前に自分の組とレーンを確認の上、レース前にくれぐれも間違いのないようにしてください。
- ※リレー種目の際は AD カードをお持ちの上、必ず4名揃ってお越してください。4名が揃わなければ招集を通れないので、出場できなかったというケースがよくあります。